

44期定期総会議案書

議事

第1部

議長選出、書記任命

第1号議案	43期の総括、44期の活動方針	会長
	43期各部の活動報告、44期の活動方針	各専門部長
第2号議案	内規の改正	事務局長
第3号議案	入会時の年齢制限を設ける	事務局長
第4号議案	セクハラに対する指針を設ける	事務局長
第5号議案	43期会計報告、44期予算案	事務局長
第6号議案	役員選出	会長

第2部

役員投票結果の発表	会長
役員担当の発表	会長
新旧役員挨拶	

委任状は添付資料最終頁をご利用ください。

2023年6月18日(日) 開場 13:00 開会 13:30 閉会 16:00

場所 市立こうべまちづくり会館2階ホール(元町駅西口から西へ10分)

兵庫県勤労者山岳連盟加盟

神戸中央山の会

KOBE CHUO ALPINE CLUB since1980.9.1.

(目次)

第1号議案	3
43期の総括	3
44期の活動方針	4
各専門部報告	4
山行部	4
ハイキング部	5
組織部	6
事務局	7
教育部	7
機関誌部	8
自然保護部	9
安全対策部	10
第2号議案	
内規の改正	12
第3号議案	
入会時の年齢制限を設ける	12
第4号議案	
セクハラに対する指針を設ける	13
第5号議案	
43期会計報告	15
44期予算案	16
第6号議案	
役員選出	16
	17

委任状

第1号議案

43期の総括

新型コロナの感染も徐々に治まり山行の自由度も上がって会活動も活発化しました。今期の基本方針から一つずつ総括します。

1. 「安心・安全」登山を推進します。

安全について、
事故5件、ヒヤリハット3件でした。事故の内容は骨折3件、捻挫1件。重大事故はありませんでした。骨折や捻挫の発生が多くなっているようです。原因は高齢化による筋力低下、柔軟性の低下、注意力の低下が考えられます。日頃のトレーニング(自己管理)が必要です。山行部では岩登り検定制度の実施により安全が担保された参加資格者の管理が行われています。

安心について、
今期より始めた「自動車修理費用積立制度」は、例会山行中に自動車事故が発生した場合、修理費用または自動車保険利用による保険料の増額分+免責金額のいずれかを支給することを目的としていますが、これにより不慮の事故があった場合に、自家用車利用例会における安心度が上がっています。3月現在での積立金の累計は約13万円を超えています。積立金の上限の15万円は来期早々に達成します。達成後には自動車修理積立金の徴収は無くなります。積立金協力者の皆さま、ありがとうございました。

無届け山行、下山報告の漏れ、緊急時態の迅速な対応の為に「コンパスアプリ」の利用を山行部の例会に広めていきました。今後、ハイキング例会や思い付き登山にもコンパスの利用を推奨していきたいと思えます。

2. 教育に力を注ぎます。

教育部からの多彩な企画を実践できました。今期の特徴は中級登山教室の継続、HLT(ハイキングリーダートレーニング)ではロープワークのテキストを作成しました。

ハイキング部では中級雪山ハイキングのカテゴリーを新設し、ハイキング部の管轄でピッケルを必要とする例会も組めるようにしました。

3. 総合山岳会として多彩な例会企画を行います。

花シリーズ、京都ブラブラ歴史探訪ハイク、城シリーズ、グルメハイク、北アルプス全縦走、森守ボランティア、雪山ハイク、アルパインルート例会、クライミング例会等々。多彩な例会の実施があり、前期から継続拡大しております。

3月に3年ぶりに労山六甲全縦大会が行われ、中央山の会30名、他会と一般参加者115名がありました。独自の参加者留守宅管理やエイドサポートを行い、大会運営支援スタッフも6名(アンカー、チェックポイント)を出しました。

4. ホームグラウンドである六甲山の自然を守ります。

毎月のクリーンハイクでのごみ拾いの実施。登山道の草刈りや道整備の実施。植樹(ヤマモミジ、ナツツバキ、ヤマボウシを各2本)を実施しました。

六甲山では「ナラ枯れ」の被害が拡大しています。ナラ枯れとは？カシノナガキクイムシが媒介するナラ菌の影響により、根からの水分が止まり、樹木が急激に枯れ死する病気のことです。枯れ死した樹木は倒れやすくなり、登山者を巻き込みます。ナラ枯れ被害の拡大や倒木被害を避けるためにナラ枯れの樹木は神戸市により伐採が行われていますが私達も倒木に注意し、危険を感じた樹木は神戸市森林整備事務所に連絡して対応の依頼をしています。

六甲山周辺の森林は「照葉樹林」です。そのままにすると葉が茂り樹木の下は暗くなり風通しも悪くなって行きます。明るく風通しを良くするためには適当な『手入れ』間伐や剪定が必要です。皆さんが毎日鏡に向かい、お顔の『手入れ』を行い、少しでも現状維持のための努力を惜しまないよ

うに、森林にも手入れが必要です。その手入れが森守ボランティア活動です。

5. 会員拡大を図ります。

会員数は昨年の137名から145名(5月現在)に増加しました。男性69名、女性76名です。女性会員の方が多くなりました。各専門部の多彩な企画により会員増加につながりました。今期は六甲全縦の開催後の入会者もありました。

特に、今期は通常のお試しハイクにおいてビジター参加者に会員が積極的に「お声掛け」を行うようにしたことが会員拡大につながったと思います。これからもお試しハイクを多く企画して会員拡大を行っていきます。

44期の活動方針

1. 「安心・安全」登山を推進します。
2. 教育に力を注ぎます。
3. 総合山岳会として多彩な企画を行います。
4. ホームグラウンドである六甲山の自然を守ります。
5. 会員拡大を図ります。

各専門部報告

山行部

第43期活動報告

例年通り、縦走、岩、沢、雪山等の各種山行や、登山教室等の教育活動の企画および実施に注力した。

1. 例会、自主山行の企画と実施

		例会	参加人数	自主山行	参加人数	個人山行	参加人数
縦走	43期	13	74	14	41	5	5
	42期	13	78	15	32	6	8
岩	43期	39	251	82	248	16	32
	42期	28	217	71	212	27	58
沢	43期	3	36	0	0	0	0
	42期	2	16	3	11	0	0
雪山	43期	13	68	5	18	0	0
	42期	25	127	3	11	1	1
海外	43期	0	0	0	0	0	0
	42期	0	0	0	0	0	0
合計	43期	68	429	101	307	21	37
	42期	68	438	92	266	34	67

2. 登山教室

前期(夏山)は、受講生4名にて実施した。

後期(雪山)は、受講生1名にて実施した。

3. 今期は以下方針に則り、活動を実施した。

○安全登山の推進

岩登り例会に参加される方が増えた現在、“各人の技術に応じた岩登り”をテーマに「岩登り山行の指針」を運用することで、安全登山の推進を目指した。岩登り検定の認識も高まり、今期は3名が岩登りB検定を合格した。しかしながら、42期、43期と「岩登り山行の指針」を運用している中で、運用上の問

題点、改善点も見つかっており、話し合いを行っている最中である。

○ハイキング部活動への積極的参加

第43期活動方針に「山行部への活動に協力していただくと共に、ハイキング例会への参加及び、ハイキング例会CLを担当して頂くよう呼びかける」と言ったが、特に具体的な動きをすることが出来なかったことは反省である。しかし、山行部登山教室修了生の方々には、当会の各種例会・教室・六甲山全山縦走大会において自発的にスタッフとして協力いただけた。

○会備品の点検活動

損傷報告のあったテントやロープの修復・破棄を行った。また損傷個所の早期発見、修復のため、山行部会の前後に有志によるテントやロープの点検を行っている。

4. 山行部費購入品

- ①過去の例会で使ったハーケン代の支払い
- ②テント補修テープ
- ③シングルロープ60m

第44期活動方針

1. 無事故を最優先目標として活動する。
2. 縦走、原登、岩登り、沢登り、雪山の例会企画を行う。
3. 「岩登り山行の指針」の運用
「岩登り山行の指針」の周知と実践に注力し、「各人の技術に応じた岩登り」をテーマに安全登山を推進する。また、「岩登り山行の指針」を進めていくうえで修正・改善が必要な個所は対応する。
4. ハイキング部活動への積極的参加
山行部への活動に協力していただくと共に、ハイキング例会への参加及び、ハイキング例会CLを担当して頂くよう呼びかける。
5. 新規山行部例会CLへの積極的なサポート
経験者がサポートを行うことで、新しい方が山行部の例会のリーダーを担当し易い環境を整える。
6. 登山装備の充実
エスパース4人テント・フライの購入。その他、必要な装備の購入を行う。
(過去のエスパース4人テントの購入期:25期(破棄)、31期、38期、39期、40期)

ハイキング部

第43期活動報告

第43期はコロナ禍も大分収まり、日常が戻ってきたように思います。日帰り例会も宿泊例会も、多くの参加者がありました。

1. ハイキング部会を年4回行い、向う3か月の例会企画を行いました。
2. 夏山アルプス例会を多く企画しました。
3. 雪山ハイキング講座を受講してある程度経験を積んだ人向けに、中級雪山例会を企画し、多くの参加者がありました。
4. 例会回数と参加者数

	例会企画数 (回)	例会実施数 (回)	中止数 (回)	会員参加数 (人)	ビジター (人)	計 (人)	自主・個人 (回)
43期 (2022.5~ 2023.4)	286	228	52	2365	136 友の会 25	2496	90
42期 (2021.5~ 2022.4)	236	152	84	1532	83 友の会 3	1596	72
41期 (2020.5~ 2021.4)	165	103	62	1002	53	1055	66

(一日登山教室、各種教室を含む)

第44期活動方針

1. 多様な例会を企画し、誰もが参加しやすい例会づくりに努めます。
2. 会員各層にハイキング例会を担当していただくようお願いしていきます。
3. 教育部、山行部、組織部と協力して各種講座の実施に参画します。
4. 教育部と協力してハイキングリーダー、スタッフの育成に努めます。

組織部

第43期活動報告

1. 会員数は137名から145名。42期より8名増。
2. 12月18日に納山祭、4月2日に新入会員歓迎会を実施。
3. ビジターを対象とした一日登山教室を4月9日に実施。

ビジター参加の例会に組織部員が参加し、ビジターさんのフォローを実施

日時	内容	参加者	備考
12月18日	納山祭	55名	
4月2日	新入会員歓迎会	54名	うち新入会員7名
4月9日	一日登山教室	33名	会員8名ビジター7名

43期会員推移

入会者 19名	辻 たかえ	塩見 直子	山本 真紀	國里 良太	井上 智子	石田めぐみ
	種村 緑	長谷川浅芽	奥村 隆啓	小島 恒夫	越智 尚美	藤原のぞみ
	宮本裕佳子	横田 知子	和田 純也	近藤 聖子	和仁由里子	石田沙有里
	三浦 健太					
退会者 11名	井上 永治	石田沙有里	鈴木美代子	杉山 良太	田崎幸二郎	長谷川浅芽
	山内 修作	村上 悦郎	辻 孝枝	藤原 のぞみ	石田 めぐみ	

第44期活動方針

1. 会員数160名を目標に会員数の拡大を図る。
2. 納山祭、新入会員歓迎会及び会員親睦目的の例会を実施する。
3. 一日登山教室を実施。入会率がよくないので入会につながるよう努力する。
4. 入会者が退会者にならないよう努力にあたる。
5. 退会者の人数を減らす。

事務局

43期活動報告

- ・情報公開を進め、透明性のある会運営を心がける(適正財政運用と情報開示)
 - ・引き続き「会方針」の実現のために課題調整と解決に取り組む
- 1、「運営委員会」月一回の議事とりまとめと進行を行い、会議はSkypeとリアルを組み合わせて行った。
(主な安心・安全登山の推進)
- 救助要請候補会員の更新を行った
 - ハイキングにおけるロープワーク(悪場通過)のマニュアル作成
 - コロナ第7波対応を検討
 - 「登山コンパス」登録の必須化
 - ハイキング計画書(泊山行用)の利用促進および緊急連絡シートの携行推奨
 - 年齢制限の検討
- (主な会運営)
- 入会者を増やすための方策を検討、事例紹介
 - 県連主催の全縦大会へ積極的に貢献した
 - 会費の督促業務や例会申込期限経過後の申込受付の対応を事務局で担当
 - 神戸みなと山友会と機関紙の相互公開を行った
 - 2/5全体集会開催(事故の傾向について、北アルプス大縦走報告、決まりごと改訂、等)
 - 座学講師代支弁、会計業務、保険業務
- 2、新入会員研修を実施 9/4
- 3、専門部会等への参加

第44期活動方針

- 1、情報公開を進め、透明性のある会運営を心がける(適正財政運用と情報開示)
- 2、引き続き「会方針」の実現のために課題調整と解決に取り組む。

教育部

第43期活動報告

- ① 教育部メンバー 教育部長 佐藤拓也、副部長 野々脇千沙
(HLT担当)宮本、長谷川
(ステップアップ講座担当)久貝、中村博、中村依
(雪山ハイキング講座担当)池脇、三浦、永末
(中級登山教室担当)長尾、都司、小石原
- ② 各種講座を開講し、会員のレベルアップに努めました。

講座	月/日	場所	内容		受講人数
夏山登山 教室	5/19	事務所	座学	夏山の心得・装備	9名
	6/2			地図・計画書	8名
	6/16			歩行・応急手当・食料等	8名
	5/29	六甲山頂	実技	トレ	7名
	6/12	有馬三山		歩荷トレ	6名
	6/25	行者尾根		歩荷トレ	9名
	7/10	黒岩尾根		歩荷トレ	7名
	7/24	芦屋地獄谷		岩場歩き	7名
	8/5-8/7	赤岳		修了山行第1弾	2名
	8/19-8/21	赤岳		修了山行第2弾	5名

講座	月/日	場所	内容		受講人数
中級登山教室	7/2	西山谷	実技	受講生中心に計画立案	5名
	7/23	釈迦岳			4名
	7/29-7/30	大賢岳			3名
	8/5-8/7	夏登教赤岳			3名
	8/19-8/21	夏登教赤岳			3名
	9/16-9/19	笠ヶ岳			台風接近の為中止
	9/17	水晶谷			6名
雪山ハイキング講座	12/6	事務所	座学	雪山の心得・装備・食料	6名
	12/24	蓬莱峡	実技	アイゼントレ	8名
	1/14⇒2/4	蓬莱山		雪山歩行	2名(日程変更)
	1/29	赤坂山⇒摩耶山			5名(山域変更)
	2/18	綿向山		修了山行	6名(荒天の為蒜山から変更)
HLワンポイント	6/4	芦屋地獄谷	実技	ハイキングの為のロープワーク・お助けロープ・応急手当	ス5名、受3名
	9/3				ス7名、受5名
	12/3				ス6名、受4名
	3/4				ス5名、受0名
HLスタッフ練成	10/1	蓬莱峡	実技	ハイキングの為のロープワーク(上級)	9名
	12/17	三枚岩			雨天中止
	2/12	三枚岩			6名
	4/1	菊水ルンゼ			7名
ステップアップ講座	4/5	事務所	座学	CL心得・計画書作成	8名
	4/13			応急手当	7名
	4/27			計画立案	8名
	4/16	大岩岳	実技	読図	13名
	5/13	荒地山		修了山行	4名
		打越山			4名

③ HLロープワークのテキストを改定しました。

④ ステップアップ講座の資料として、コンパス、ヤマレコのテキストを作成しました。

第44期活動方針

1. ハイキング部、山行部、組織部と協力し、会員の登山技術向上、リーダー育成に努めます。
2. 各種講座(夏山、中級、雪山ハイキング、ステップアップ、HLT)を開講します。
3. HLスタッフ練成、HLワンポイントレッスンは参加者が停滞気味なので体制・内容を見直します。
4. 体制⇒副部長2名増員

機関誌部

第43期活動報告

- ① 機関誌部メンバー 機関誌部長 逢坂亜紀、副部長 小嶋美子
久貝壽祈、源田定之、北島哲一(すずの子監修)、奥村奈美、大石恵理子、橋本幸治、三木羊子、吉村哲郎、古川勲、中村依理子
HP担当:源田定之、富本登、岡部久高、田中みお
- ② メンバーを増やして編集クールを2ヶ月交代としました。
- ③ すずの子印刷作業活動は紙配布者13名
紙希望者での印刷作業を行っています。(新長田合同庁舎にて印刷)
すずの子印刷とあわせて、お試しハイクチラシを印刷し、高座の滝、市ヶ原の神戸中央山の会専用ポス

トに入れています。

- ④ 神戸中央山の会 名刺案検討(新規会員獲得のため)
- ⑤ 機関誌部員によるすずの子編集作業についての意見交換(すずの子アンケート検討)

第44期活動方針

- ① 例会が、2022年度は373件となりました。10年前は年間178件でした。例会が増えると記録も増え、すずの子の編集量が増えます。このままでは、機関誌部担当者、各部の例会とりまとめメンバーがますます疲弊していきます。例会案内、例会記録は形を変えての活用ができるようにweb移行を踏まえての方向性の設計を1年かけて行います。
- ② ヤマレコの内容を充実させて例会記録としての活用を検討。それに伴いヤマレコ操作勉強会を行います。
- ③ HPを活用した例会活動の充実をアピールして会員拡大につなげます。
- ④ 機関誌部員(Wordpress サポートスタッフ含む)の拡充をはかります。

自然保護部

43期 活動報告

11月16日、自然保護部会を開催して活動方針の確認をしました。

活動目的

- ・会員の「心のふるさとの山」でもある六甲摩耶山域の「限りある自然を守り、後世に残す」
- ・登山者として出来る、登山道の維持補修

活動内容

1、クリーンハイク 2、森守ボランティア 3、自然観察 4、プルトップ回収

1. クリーンハイク(兵庫の山からゴミを一掃する運動)

・県連2023年度の統一行動 9/4、10/2、12/4、2/5、4/2、6/4

コロナ禍で中止が多い年もありましたが43期は例年通り8月以外11回実施しました。

- ・会員交流の場でもあります。

【43期クリーンハイク参加人数とゴミ回収量】

月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	合計
会員	52	18		39	57	37	37	23	31	38	44	12	388
ビジタ	3	0		5	12	4	7	2	1	0	2	0	36
合計	55	18		44	69	41	44	25	32	38	46	12	424
ゴミ量	4	2		5	20	5	13	4	8	14	11	2	88

	会員	ビジター	参加人数合計	ゴミ収集量(kg)	実施月数
40期	428	23	451	60	10か月
41期	231	10	241	28	7か月
42期	279	18	297	42	8か月
43期	388	36	424	88	11か月

2. 森守ボランティア

登山道の維持補修

作業内容:登山道の補修、清掃、草刈り、植樹、倒木撤去、通報

夏場は草刈り、冬場は登山道補修、春先は植樹関連の作業を主に行いました。

3月1日の植樹準備の日に枝垂れ桜1本と3月5日のクリーンハイク時に神戸市森林整備事務所から提供を受けたナツツバキ・ヤマボウシ・ヤマモミジ各2本を植え、樹木名・植樹日などを書いたプレートを取り付けました。

あじさい広場下の急な登山道を登りやすく階段状に直し、六甲全縦の前には天狗道入口までの痛んでいる丸太の取り換えを行いました。また、クリーンハイク時に参加者に協力していただき登山道に横たわっ

ている倒木の撤去を行いました。

春からは草刈りやあじさい広場のあじさいの剪定、溝掃除を行いました。

4/28森守ボランティアの打ち合わせ会に出席、神戸市が令和5年度から「神戸登山プロジェクト」を立ち上げ、手を入れて観光として行こうとしている。①新神戸に登山支援拠点を設置、②登山道沿いに休憩スポットを設置、③まちぐるみの「おもてなし」、④登山道・案内板の整備(安全安心な山歩きにヤママップの活用、老朽家屋の撤去)

作業内容と参加者

作業内容	作業回数	作業日	参加のべ人数
草刈り・枝払い・剪定	8	6/18、6/20、6/29、7/6、7/7、8/7、10/5、11/16	50名
植樹準備・手入れ	3	6/1、3/1、3/29	25名
植樹	1	3/5(クリーンハイク)	
倒木撤去	1	6/5	5
登山道整備	3	12/7、1/11、2/1	28名
通報(猪死体)	1	6/24	1名
森守打ち合わせ会出席	1	4/28	1名
合計	18		110名

3. 自然観察

ハイキング部の花シリーズに参加して花の観察をしました。ヤマレコに花の写真と名前を掲載しました。

4. プルトップ収集(朝日新聞専売所に手渡し済)

38期	11 kg	41期	7.84 kg
39期	13 kg	42期	6.315 kg
40期	4.21 kg	43期	9.01 kg

ドラム缶一杯300kg(その時の相場で変わる)で車椅子1台

44期活動方針

- 兵庫の山からゴミを一掃する運動、クリーンハイクに取り組みます。
- 森守ボランティア活動に取り組みます。
- 自然観察を計画します。
- プルトップ収集を引き続き行います。

安全対策部

I. 第43期活動報告

1). 県連安全対策委員会

対象期間の例会、個人山行、自主山行計画を取りまとめ、以下の会議に出席し他会との意見交換を行いました。

	日時	場所
夏山連絡会	2022年7月14日 19:00	婦人会館
冬山連絡会	2022年12月17日 19:00	兵庫区文化センター
安全対策責任者会議	未実施	
春山連絡会	2022年4月20日 19:00	婦人会館

2). クリーンハイク・ワンポイントレッスン

前期はコロナ禍で半分は実施できませんでしたが、今期は打って変わって、ほぼ実施できました。

2022/5月	6月	7月
松葉杖の作り方	ツェルト設営	テント設営(エスパース)
8月	9月	10月
夏山山行期間	ココヘリ会員証	アイゼン装着法

11月	12月	2023/1月
ワカン装着法	シートベント	ボウラインノット
2月	3月	4月
全体集会	ロープ担架	新人会員歓迎会

3). 県連のヒヤリハット・事故報告の共有

会員専用掲示板において、兵庫労山から配信された注意喚起や事故報告書の配信を行いました。

4). セルフレスキュー安全講習(年2回)

2022年5月14日(土) 9:00～ 神戸登山研修所で実施しました。

2022年11月5日(土) 9:00～ 神戸登山研修所で実施しました。

5). 今期ヒヤリハット・事故報告

ヒヤリハット			
立山三山	2022/09/11	下山遅れ	
甲斐駒・仙丈	2022/10/22	下山遅れ	
御着	2022/11/09	ビレイ失敗	
事故			
HLT 赤子谷	2022/05/28	滑落	肋骨骨折
赤石岳	2022/07/28	転倒	左膝捻挫
前穂高岳	2022/08/07	転倒	右小指骨折
北穂高岳	2022/09/28	転倒	左足首骨折
室内壁	2023/01/25	墜落	肋骨骨折

・HLT赤子谷 事故報告検証会議を実施(6/19)→安全対策委員会に事故報告書を提出済

※ヒヤリハット報告については、パーティ内での共有を確認してから受領する。

※事故5件については、全国連盟、県連に事故一報を提出した上で、労山基金保険申請手続きを行いました。

6). 安全対策部会

今期、部会は未実施です。

7). 全体集会

2023年2月5日 全体集会にて、安全講話を行いました。

II. 第44期活動方針

・引き続き、絶対に事故を起こしてはならないという観点から、安全登山を全会員一丸となって推進していきます。

・県連安全対策行事を案内し会員に参加を促していきます。

・年2回、セルフレスキュー講習会を実施します。

・クリーンハイクでワンポイントレッスンを実施します。(講師は会員から選出しますので、ご協力をお願いします。)またリクエストも受け付けます。※下記の表は予定です。

クリーンハイク・ワンポイントレッスン(案)		
2023/5月	6月	7月
簡易ハーネス	ツェルト設営	テント設営(エスパース)
8月	9月	10月
夏山山行期間	Wフィッシャーマンズベント	アイゼン装着方法
11月	12月	2024/1月
ワカン装着法	ボウラインノット	フリクションノット
2月	3月	4月
全体集会	三角巾の使い方	新人会員歓迎会

第2号議案

内規の改訂

1. 「退会」手続きに関する矛盾があったので修正する

(変更前)会則:第7条4.退会しようとする者は事前に退会届を事務局に提出すること

内規:第1条3.「退会」を希望する場合、理由と共に会長に連絡する

⇒会則を変更する…「退会しようとする者は会長に連絡する」

2. 10/2第5回運営委員会に置いて、前期からの懸案事項である各種講座の講師料を交付する件を協議し、各イベントでの人的負担を調査したうえで下記のとおり決議した。

内規第4条の改訂事項であり本総会に諮るもの。

(運営委員会決議内容)

- ・ビジター受講生を受入れる「1日登山教室」「夏山登山教室」について、座学講師料1回1,000円、実技CLに1回1,000円を交付する。スタッフには交付しない。
⇒内規第4条の改訂事項であり、次期総会の決議で決定する。
- ・会員限定の講座(雪山ハイキング講座、沢入門等)は、CLに参加者から集めたリーダー代(100円/人)を交付する。

(内規:変更前)第4条(例会参加費用)

例会山行や各教室への参加費用は、下記の通りとする。

参加者	例会山行	各種教室
会員	100円	100円
お試しハイク	500円	教室により異なる

- ・参加費は例会山行のCL、教室の講師が受け取る。
- ・お試しハイクの参加費のうち100円はCLが受け取り、400円は会に納付する
- ・除外山行:クリーンハイク、納山祭、六甲縦走、日の出ハイク

(変更後)

例会山行や各教室への参加費用は、下記の通りとする。

参加者	例会山行	各種教室
会員	100円	100円
お試しハイク	500円	教室により異なる

- ・参加費は例会山行のCL、教室の講師が受け取る。
- ・お試しハイクの参加費のうち100円はCLが受け取り、400円は会に納付する
- ・ビジター受講生を受入れる「1日登山教室」「夏山登山教室」について、座学講師料1回1,000円、実技CLに1回1,000円を交付する。スタッフには交付しない。
- ・除外山行:クリーンハイク、納山祭、六甲縦走、日の出ハイク

第3号議案

入会時の年齢制限を設ける。

1/11第8回運営委員会において「中級者向け例会では参加の資格制限(例えば年齢制限)を設けるべき」との提案があった。2/5第9回運営委員会において、中級者向け例会に限らず各講座における年齢制限の

必要性を協議し、下記のと通りの制限を定めることとした。

制限を設けることおよびその年齢の設定が「安全登山を推進」するうえで妥当かどうかを検証していきたい。

この施策を推進するうえで、下記の表のうち各講座の年齢制限は運営委員会で決議し即運用していくが、「入会時＝75歳以下」という制限については総会の決議を要するものであり、本総会に諮るもの。

(運営委員会の決議内容)

入会時	75歳以下としたい(総会決議)。
雪山ハイキング講座	65歳以下とする。但し、既存会員で過去3年以内に同等の雪山ハイキング例会経験者は制限を設けない。
夏山登山教室	必須講座につき無制限。但し、会員外受講生は75歳以下で修了山行参加は、リーダー判断。
夏山中級登山教室	65歳以下。
山行部登山教室	概ね55歳以下かつ入会1年以上。
岩座学	65歳以下。既に岩座学を受講した会員の実技参加は制限なし。
沢座学	55歳以下。既に沢座学を受講した会員の実技参加は制限なし。
1日登山教室	75歳以下。

会則の改訂

(変更前)第4条 会則を承諾し所定の入会金・会費を納入し手続を行うことにより、誰でも会員になることができる。

(変更後)第4条 会則を承諾し所定の入会金・会費を納入し手続を行うことにより、誰でも会員になることができる。(入会時年齢75歳以下)

第4号議案

セクハラに対する指針を設ける

パワハラやセクハラなどいろいろなハラスメントが、被害者や周りの人のメンタルや組織の環境維持に悪影響を及ぼすことは既に社会に認知されています。

当会が「安く、楽しく、安全な登山」を目指し会員増嵩を図るうえで、ハラスメント防止策を講じておくことが必要です。

いろいろなハラスメントのうち山岳会において想定しうるものとして、セクシャルハラスメントへの対応策を本総会に諮るもの。

セクハラに対する指針

1. セクハラの実義

当会では、①会活動において、会員の意に反して性的な言動を行い、その行為により会員が会活動参加に支障をきたすこと②性的な言動によって会活動の環境を害する事をセクハラと定義する。

対価型セクハラと環境型セクハラ

(1)対価型セクハラ

会員に性的な言動を行い、それに対し会員が拒絶を示したことなどを理由に、会活動参加を不利益に取り扱うもの。

例えば、性的関係を要求したが拒絶されたので技術指導を拒絶したり例会等への参加が難しくなるような風説を流したり、損な役回りを強いたりする。

(2)環境型セクハラ

会員の意に反して性的な言動が行われることによって会活動の環境(雰囲気)が悪化し、会活動への参加

意欲がそがれること。

例えば、山行中の仲間が性的な発言を繰り返すので苦痛に感じて山行に集中できない場合。

2. 対応策

(1)セクハラ相談窓口を設置する

男女複数人の人格者からなる相談窓口を設け、相談を受けた場合、本人に不利益が及ばないよう配慮した対応をすることで、相談しやすい環境を整える。

(2)相談を受けた時の留意点

- ・プライバシーを尊重し、他者に聞かれない・見られない場所やツールで相談を受ける
- ・セクハラを受けた事実を否定しない
- ・「なぜ拒否しなかったのか」など被害者に対して否定的な言葉を発しない
- ・「それは絶対にセクハラだ」などと断定的な言い方は避ける
- ・「話を聞いてほしい」「加害者と引き離してほしい」など被害者の希望を聞く
- ・被害者の同意を得られない限り、会の中での情報共有は避ける
- ・今後の対応について、考えられる方法を被害者に説明する

(3)事実関係を迅速かつ正確に確認する

被害者だけでなく加害者からも話を聞き、場合によっては、よく山行で一緒になる仲間から話を聞いたりする。

(4)証拠、記録化を行う

セクハラを相談されたら、被害者や加害者、目撃者などから聞き取りをする場合に、本人の同意を取って録音したり調書を残したりして証拠化する。調書を作成するときには、セクハラの内容はもちろん、性的言動が被害者の「意に反して」行われたことを書き留めておく。

(5)被害者のメンタルケアを行う

被害者の精神状態に十分配慮し、医師やカウンセラーなども利用して、セカンドハラスメントが起こらないよう慎重に対応する。

(6)被害者・加害者の引き離しを行う

事実関係が真偽不明の状態であっても、更なるトラブルの防止のためにも、被害者と加害者を引き離す措置をとる。具体的には、例会や講座、その他会活動に同席させないことが考えられる。

(7)不利益な取り扱いの確認・回復を行う

被害者がセクハラにより風説の流布等の不利益を受けている場合、その被害を回復できるよう協力する。

3. 加害者への対応と再発防止策

(1)加害者の処分と会員への公表

セクハラ被害の内容次第では加害者への厳正な処分が必要なケースもある。

適切な処分を行い、会員に公表することで、会員の意識向上につながり、再発防止に役立つこともある。

但し、処分内容を無制限に公表することは名誉との関係で認められないこともあるので注意が必要。

(2)被害者の加害者に対する責任追及への対応

セクハラ被害者は加害者に慰謝料請求(損害賠償請求)できる場合もあり、刑事事件になる場合もあるが、会としては、法的責任追及にまで関与すべきではない。

(3)再発防止に向けて会が行う事

会報やHPに掲載したり啓発資料を作成して、改めてセクハラを許さない方針を会員に周知・啓発していく。

また、セクハラ研修を実施し、会にセクハラを相談し辛い雰囲気があるかを確認し、改善点があれば取り組んでいく。

第5号議案

43期決算報告

第 43 期 会計報告書

自 2022年5月21日 至 2023年5月20日

一般会計		神戸中央山の会 (単位:円)	
収入の部		支出の部	
科目	金額	科目	金額
前期繰越金	282,763	連盟費	514,800
会費収入	1,563,000	家賃	516,660
活動収入	58,400	水道光熱費	13,576
その他収入	102,967	事務局費	43,465
預金利息	30	山行部費	19,294
助成金	133,000	ハイキング部費	300
寄付	1,000	組織部費	18,833
主催者賠償保険返戻金	540	教育部費	46,710
		自然保護部費	132,638
		六甲全山縦走	23,372
		「遭対積立」繰入	33,720
		「記念事業積立金」繰入	200,000
		次期繰越金	578,332
合計	2,141,700	合計	2,141,700

特別会計

遭対特別積立金

収入の部		支出の部	
科目	金額	科目	金額
前期繰越金	2,858,820	融資金	
一般会計より繰入	33,720	次期繰越金	2,892,540
合計	2,892,540	合計	2,892,540

友の会

収入の部		支出の部	
科目	金額	科目	金額
前期繰越金	27,000		
会費	3,000	次期繰越金	30,000
合計	30,000	合計	30,000

記念事業積立金

収入の部		支出の部	
科目	金額	科目	金額
前期繰越金	150,000		
一般会計より繰入	200,000	次期繰越金	350,000
合計	350,000	合計	350,000

自動車修理積立金

収入の部		支出の部	
科目	金額	科目	金額
前期繰越金	0		
会費	140,100	次期繰越金	140,100
合計	140,100	合計	140,100

資産の内訳

(手許)		(内訳)	
現金	150,425	遭対特別積立金繰越	2,892,540
郵便貯金	3,340,547	友の会繰越	30,000
定期預金	500,000	記念事業積立金繰入	350,000
		自動車修理積立金	140,100
		一般会計繰越	578,332
計	3,990,972	計	3,990,972

(家賃保証・連盟積立金)	
差入保証金	80,000
計	80,000
合計	4,070,972

会計監査報告

監査日時 2023年5月23日 会事務所
 監査結果 帳簿等を精査の結果、正常である事を認めます。

氏名 白川 英夫

氏名 都司 元晴



43期予算案

第44期 予算案

自 2023年5月21日 至 2024年5月20日

一般会計

収入の部		支出の部	
科目	金額	科目	金額
前月繰越金	578,332	運賃買	548,400
会費収入	1,735,000	茶買	516,660
店敷収入	55,000	水道光熱買	14,000
夏山登山教室	60,000	事務用買	161,200
預金利息	30	機関誌用買	
助成金	133,000	山行用買	150,000
		ハイキング用買	60,000
		組織用買	30,000
		教育用買	89,000
		自然保護用買	10,000
		森守ボランティア	133,000
		安全対策用買	13,000
		金庫	20,000
		「遺財積立」繰入	37,200
		記念事業積立繰入	200,000
		次期繰越金	578,902
合計	2,561,362	合計	2,561,362

特別会計

遺財特別積立金

収入の部		支出の部	
科目	金額	科目	金額
前月繰越金	2,892,540	融資金	0
一般会計より繰入	37,200	次期繰越金	2,929,740

友の会

収入の部		支出の部	
科目	金額	科目	金額
前月繰越金	30,000		
会費		次期繰越金	30,000

記念事業積立金

収入の部		支出の部	
科目	金額	科目	金額
前月繰越金	350,000		
一般会計より繰入	200,000	次期繰越金	550,000

自動車修理積立金

収入の部		支出の部	
科目	金額	科目	金額
前月繰越金	140,100		
積立	9,900	次期繰越金	150,000

総会欠席

欠席の場合は必ず委任状を提出してください。

期限は6月14日(水)までです。

提出先は事務局長宛 Webフォーム、メール、手渡し、郵送でお願いします。

Webフォーム <https://forms.gle/mSfDPAxTcq6UrEFj9>



メールアドレス kcac1980.info@gmail.com

郵送の場合は会事務所

〒650-0022 神戸市中央区元町通7丁目1-6 日光ビル201号

資料室UP

5/28付でホームページ資料室に議案書をアップし、ダウンロードできるようにします。

-----切り取り-----

委任状

私は神戸中央山の会44期定期総会における全ての議題及び議決についての権限を、議長に委任いたします。

2023年 月 日

氏名: